

＝ 令和 6 年度 ＝

摂津市教育推進プラン

摂津市教育委員会

目 次

1 . はじめに	P 1
2 . 教育推進プランの位置付け	P 1
3 . 施策体系	P 2
4 . 具体的な取組	P 4
目標 1 . 豊かな心を育む教育	P 5
目標 2 . 確かな学力を育む教育	P 8
目標 3 . 健やかな体を育む教育	P 1 3
目標 4 . 社会を生き抜く力を育む教育	P 1 6
目標 5 . とともに学び育つ教育	P 1 8
目標 6 . 学びを続ける機会づくり	P 2 2
目標 7 . 学びを支える環境づくり	P 2 5
目標 8 . 学びを活かす人づくり	P 2 8
目標 9 . 安全安心で快適な教育環境づくり	P 3 0
目標 10 . 地域全体で教育に取り組む体制づくり	P 3 4
参考 . 摂津市が配置等している支援人材一覧	P 3 7

1. はじめに

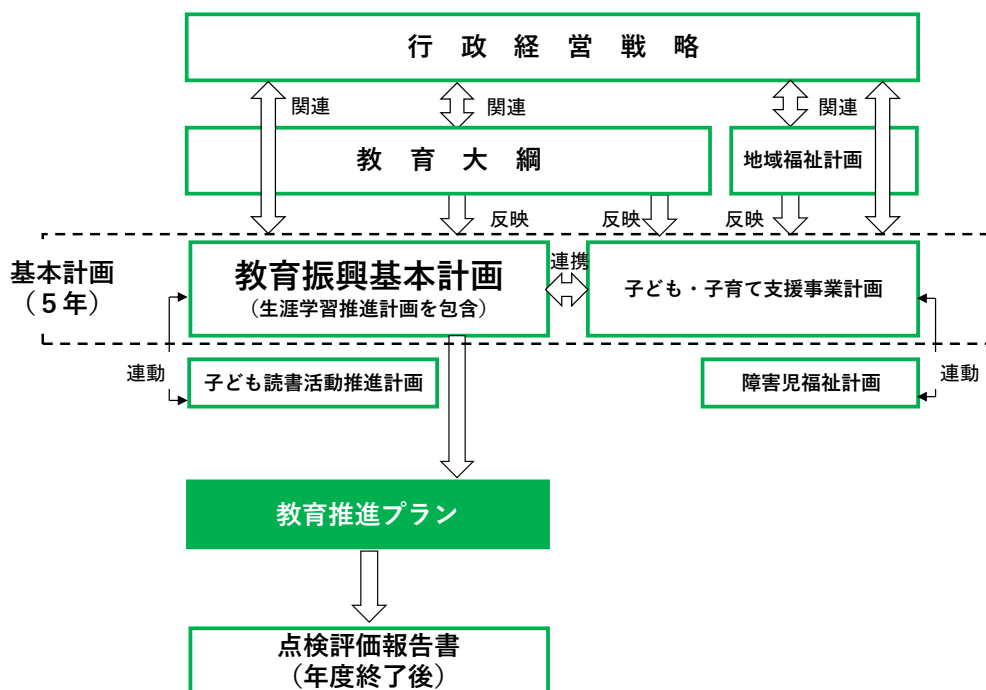
つながり 未来を拓く せつつの教育

摂津市教育大綱には教育理念として「つながり 未来を拓く せつつの教育」が掲げられています。そこには市民一人ひとりが自立した人間として、人や社会（まち）とつながりながら生きる喜びを感じ、豊かな感性と創造力を輝かせ、新しい未来を切り拓いてほしいという思いが込められています。

本市教育委員会では、この教育大綱の教育理念に基づき、中長期的な視点で教育の振興に取り組むため、摂津市教育振興基本計画を策定しました。教育推進プランは、摂津市教育振興基本計画の目標達成のためのアクションプランとして単年度に取り組む内容を計画しています。

2. 教育推進プランの位置付け

本計画は、摂津市行政経営戦略の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして位置付けられており、策定に当たっては、子どもに関する他施策との整合性を図り策定しています。また、計画の進捗管理については、PDCAサイクルに基づいて行うとともに、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。



3. 施策体系

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	事業（取組）名
つながり 未来を拓く せつつの教育	1. 一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	1 豊かな心を育む教育	① 道德教育の推進		道德教育の充実
			② 人権教育の推進		人権教育推進事業
					国際理解教育推進事業
					日本語指導教育事業
		2 確かな学力を育む教育	③ 読書活動の推進		小中学校管理運営事業
					学校読書活動推進事業
					学力向上推進事業
			④ 授業改善の推進	★	小中学校教育用コンピューター事業
					学校マネジメント支援事業
					研修事業
			⑤ 学習内容・学習習慣の定着		学校教育相談員配置事業
					学校マネジメント支援事業（再掲）
				★	学力向上推進事業（再掲）
		3 健やかな体を育む教育	⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	★	就学前教育・保育推進事業
					小中一貫教育の推進
					運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進
	2. 人生100年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	3 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着		小・中学校給食事業
			⑧ 学校体育・部活動の推進		全国・運動能力、運動習慣等調査
				★	学校部活動等助成事業
		4 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	英語教育推進事業
				★	小中学校教育用コンピューター事業（再掲）
				★	キャリア教育推進事業
		5 とともに学びに育つ教育	⑩ 支援教育の推進		防災教育の推進
				★	特別支援教育推進事業
					就学児指導事業
			⑪ 相談体制の充実		教育相談事業
					進路選択支援事業
				★	生徒指導体制推進事業
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ～教育環境の整備～	6 学びを続ける機会づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		教育相談事業（再掲）
				★	適応指導教室事業
		7 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		公民館講座開催事業
					家庭教育学級事業
					生涯学習出前講座開催事業
		8 学びを活かす人づくり	⑮ 社会教育施設の活用		生涯学習推進本部運営事業
					文化財保護事業
					摂津市史編さん事業
		9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑯ 多様な主体による指導者の育成		公民館まつり事業
					生涯学習フェスティバル開催事業
					こどもフェスティバル開催事業
			⑰ 教育施設の整備		公民館運営事業
				★	図書館運営事業
				★	子ども読書活動推進事業
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ～教育環境の整備～	10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑱ 子どもの安全見守り活動の充実		青少年団体育成事業
					青少年リーダー養成事業
					せつつ生涯学習大学事業
		9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑲ 学校給食の安全衛生管理	★	小中学校施設改修事業
				★	小中学校通学区域等事業
					図書館施設管理事業
		10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑳ 学校・家庭・地域の連携強化		小中学校保健事業
				★	中学校給食事業（再掲）
					小学校給食事業（再掲）
			㉑ 子どもの安全見守り活動の充実		学校協議会の積極的運営
					積極的な情報発信
					地域学校連携活動支援事業
	3. 安全で安心な学びの場をつくり ～教育環境の整備～	10 地域全体で教育に取り組む体制づくり	㉒ 子どもの安全見守り活動の充実	★	安全対策事業
					スクールガード・リーダー配置事業
					小中学校通学区域等事業（再掲）
		9 安全安心で快適な教育環境づくり	⑲ 学校給食の安全衛生管理		地域子ども安全安心事業
		8 学びを活かす人づくり	⑮ 社会教育施設の活用		
		7 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		
		6 学びを続ける機会づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		

★：重点事業（施策推進にあたり、令和6年度に重点的に取り組む事業【新規事業や拡充事業等】）

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	74.6%	76.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	69.4%	72.8%	72.9%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。

「R6 目標値」には、「R7 目標値」の達成に向けて令和6年度に到達すべき目標値を記載しています。

事業（取組）名	英語教育推進事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	28,337 千円（28,337 千円）	
取組内容	・児童生徒の英語力向上及び教員の指導力向上のため、授業づくりの支援及び助言を行う外国語活動支援員★を1名派遣する。			
	・児童生徒の関心や習熟度に応じた英語学習の実施に向け、小学校1校、中学校1校においてオンライン教材を試行的に導入する。			
事業（取組）ごとに令和6年度の取組内容等を記載しています。新規事業、拡充事業等重点的に取り組む事業には事業（取組）名の後ろに【重点事業】と標記しています。				
指標名	「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合		① 88.7%	① 90.0%
	②英語力がCEFR A1※相当以上である生徒の割合（対		② 19.9%	② 59.9%
事業（取組）の進捗状況をはかるための指標を設定し、令和4年度の実績値及び				

事業（取組）の進捗状況をはかるための指標を設定し、令和4年度の実績値及び令和6年度の目標値を記載しています。

4. 具体的な取組

基本目標
1

豊かな心を育む教育

授業や体験活動、学校行事等を通じて、言葉や文章、事象、自然、文化等に触れることで、人としての感性を磨き、心を豊かにします。また他者との関わりを通して築く人間関係は人生を豊かにします。教育基本法第1条に基づき、教育の目的である「人格の完成」をめざし、授業や体験活動、学校行事等を通じて、他人を思いやる心や生命尊重の心、自己肯定感の向上、自制心や規範意識の向上を図り、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	74.6%	76.0%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	69.4%	72.8%	72.9%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

①道徳教育の推進

答えが一つでない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。

事業（取組）名	道徳教育の充実	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・指導力向上のため、各小中学校の道徳教育推進教師※を対象に、道徳の授業づくりについての研修を実施する。			
指標名	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】 (小６・中３平均)	R4 実績値		R6 目標値
		小 6 72.3% 中 3 85.2%	小 6 85.0% 中 3 88.0%	

※道徳教育推進教師：指導計画の作成、教材の整備・充実など道徳教育の推進を主に担当する教師

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

②人権教育の推進

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、児童生徒の発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。

事業（取組）名	人権教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	240 千円（60 千円）	
取組内容	・教職員の人権教育に関する知的理解と人権意識・人権感覚を醸成し、指導力向上を図るため、人権教育研修会を実施する。			
指標名	教職員アンケート「あなたは、日々の教育活動の中で、学校の人権教育推進計画に示されている自校の課題と目標、課題解決に向けた具体的な取組を意識していますか。」に肯定的回答をした割合	R4 実績値	R6 目標値	
		84.6%	86.0%	

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,880 千円（1,880 千円）	
取組内容	・児童生徒が他国・他地域の言語や文化について活動を通じて学ぶため、学校へ国際理解教育社会人講師★を派遣する。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では、日本以外の国の言語や文化について学ぶ機会を設け、児童生徒が多様性について学ぶことができていると思いますか。」に肯定的回答をした割合	R4 実績値	R6 目標値	
		78.4%	80.0%	

事業（取組）名	日本語指導教育事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	9,853 千円（9,853 千円）	
取組内容	・海外からの帰国子女及び渡日児童生徒等に対し、一人ひとりの課題に応じた日本語指導及び母語指導等の支援を行うため、日本語指導講師★を派遣する。 ・日本語指導及び母語指導のさらなる充実のため、オンラインでの指導や学習支援が必要な児童生徒同士の交流を行う。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では、日本語指導を実施するにあたって組織的な体制が構築されていると思いますか。」に肯定的回答をした割合	R4 実績値	R6 目標値	
		68.2%	71.0%	

★の説明は 37 頁に記載しています。

③読書活動の推進

読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	120,625 千円（8,000 千円）	
取組内容	・新たな図書の購入や古い本の廃棄、買い替え等により学校図書館整備及び充実を図り、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を支援する。			
指標名	児童生徒アンケートにおいて「学校図書館に読みたい本がある」と回答した割合	R4 実績値		R6 目標値
		—（*）		80.0%

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	22,443 千円（18,881 千円）	
取組内容	・小学校図書館で児童が本に親しみやすい工夫を行うなど本と出会う機会を増やし、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進支援員★を全小学校に各 1 名配置する。			
指標名	「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合【◆】	R4 実績値	R6 目標値	
		45.5%	50.0%	

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 37 頁に記載しています。

（*）アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

基本目標

2

確かな学力を育む教育

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、学校教育とは次代の社会を担うための土台作りの場です。子どもたちが社会に出てからも学んだことを生かせるように学習意欲を高め、自ら学び、主体的に行動し、よりよく問題を解決できるように、確かな学力を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を1とした場合）	(小6)0.99 (中3)0.91	(小6)1.0 (中3)1.0	(小6)1.0 (中3)1.0
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{【◆】} （小6・中3平均）	75.8%	78.0%※	73.5%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※ R4 実績値がすでに R7 目標値に到達しているため、R6 目標値を 78.0%に設定しています。

施策及び事業（取組）

④授業改善の推進

学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。

事業（取組）名	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30,135 千円（6,614 千円）	
取組内容	・全国学力・学習状況調査の結果をもとに、児童生徒の学力課題に合わせた知識・技能の習得とそれらを活用して課題を解決するための力を育むため、大学教授や指導主事を招聘した研究授業を行うなど、授業改善を中心とした学校の学力向上の取組を支援する。 ・学習指導要領が示す目標に向け研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。			
指標名	①意識調査※ ¹ （3月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合 ②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※ ² 及び府中学生チャレンジテストの結果が前年度以上の学年の割合 ③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	R4 実績値	R6 目標値	
		① 46.4% ②(小)40.0%※ ³ (中)47.0%※ ⁴ ③(小)0.96 (中)1.36	① 50.0% ②(小)55.0%※ ³ (中)55.0%※ ⁴ ③(小)0.9 (中)1.2	

※¹ 意識調査：市教育委員会が児童生徒の学習意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※² 摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各学校が児童の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に生かすために実施する学力調査（対象：小学1年生から6年生まで）

※³ 指標②小学校実績値・目標値の考え方：

小学2年生から6年生までの5学年×10校×2教科（国語、算数）のうち、前年度以上の学年の割合

※⁴ 指標②中学校実績値・目標値の考え方：

中学2年生、3年生の2学年×5校×3教科（国語、数学、英語）のうち、前年度以上の学年の割合

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ 一事業【重点事業】	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	125,906 千円（107,622 千円）	
取組内容	・児童生徒が ICT を日常的かつ効果的に活用した授業づくりに向け、教員対象の研修会の実施や ICT 支援員★を各校に派遣する。			
指標名	「児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導することができる」の項目に肯定的に回答した教員の割合【▼】	R4 実績値	R6 目標値	
		72.0%	80.0%	

【▼】国実施の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における質問項目を指標としています。

★の説明は 37 頁に記載しています。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	281,307 千円（7,200 千円）	
取組内容	・小中学校の研究授業・研究協議の支援を行うとともに、研究重点校として指定した学校の取組成果を発信し、他校に普及する。			
指標名	意識調査（3 月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	R4 実績値		R6 目標値
		59.8%		65.0%

事業（取組）名	研修事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	847 千円（847 千円）	
取組内容	・教職員の資質向上のため、各教科の授業づくり、児童生徒の発達を支える指導の充実及び教職員のニーズに応じた研修を実施する。			
指標名	教職員研修参加者アンケートにおいて「研修の内容を学校の取組に活かす」への肯定的回答の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		97.0%	100%	

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,888 千円（2,888 千円）	
取組内容	・授業づくりの支援など初任者を中心とした経験の浅い教員の指導力向上を図るため、学校教育相談員★を 1 名配置する。			
指標名	初任者へのアンケートにおいて「学校教育相談員の助言を日々の授業づくりに活かすことができた」への肯定的回答の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		—(*)	80.0%	

★の説明は 37 頁に記載しています。

(*) アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

⑤学習内容・学習習慣の定着

授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業 （再掲）	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	281,306千円（12,400千円）	
取組内容	授業中や放課後等における児童生徒の学習活動を支援するため、学習サポーター★を各校に派遣する。			
指標名	教職員アンケートにおいて「学習サポーターの活用により、子どもたちの学習支援につながっていると思う」の肯定的回答の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		—(*)	80.0%	

事業（取組）名	学力向上推進事業（再掲）	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	30,135 千円（22,957 千円）	
取組内容	・市内6 会場で小学6年生から中学3年生を対象に「摂津SUNSUN 塾※ ¹ 」を年間90回実施するとともに、新たに英語を受講科目に追加する。			
指標名	① 塾内理解度確認テスト※ ² の伸長率（入塾時の5月現状値を1.0とする） ②平日及び休日に 1 時間以上学習する通塾している児童生徒の割合の増加（5 月現状値を 1.0 とする）	R4 実績値	R6 目標値	
		①1.04 ②平日 1.26 休日 1.69	①1.06 ②平日 1.30 休日 1.75	

※1 摂津 SUNSUN 塾：摂津市が民間委託する無料塾。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。受講科目は、算数・数学、国語、英語。

※2 塾内理解度確認テスト：委託事業者が作成する各教科の理解度を確認するテスト。

★の説明は 37 頁に記載しています。

(*) アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。

義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで9年間の義務教育を計画的に行います。

事業（取組）名	就学前教育・保育推進事業 【重点事業】	担当課	保育教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,600 千円（270 千円）	
取組内容	・公立の就学前施設教職員と小学校教員等の資質・能力の向上及び教職員同士の交流を図るため、保幼小合同研修会等を実施する。			
	・就学直前の園児が円滑に小学校生活へ移行できるよう、園・小学校・関係各課と連携を図りながら、5 歳児対象の学校訪問や双方の教職員による相互参観及び意見交換会等を実施する。			
指標名	①保幼小合同研修アンケートにおいて、今後の職務に活用できる等の肯定的意見の割合 ②保幼小連携事業アンケートにおいて、施設長や参加者の肯定的評価の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		①96.5% ②—（*）	①95.0%以上 ②100%	

事業（取組）名	小中一貫教育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・義務教育 9 年間を見据えた「めざす子ども像※」の実現に向け、中学校区で合同研修などの校種間連携の機会を設け、学習指導・生徒指導等の充実を図る。			
指標名	教職員アンケートにおいて「勤務校では、教科の指導内容や指導方法について校区の学校と連携（合同研修や交流）し、9 年間を見通した教育を行っている」と回答した教職員の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		—（*）	40.0%	

※めざす子ども像：市内学校が共通して取り組む方針を定めた「摂津の学校教育スタンダード」に基づき、各学校が子どもたち、地域及び家庭等の状況を踏まえ、子どもたちの将来を見据えつきたい力や人間性等について示した目標。

(*)アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

基本目標
3

健やかな体を育む教育

人生100年時代と言われる中、子どもたちが生涯にわたって健康で充実した生活を過ごすため、運動やスポーツ活動、学校保健活動を通じた体力や運動能力の向上と、基本的な生活習慣の定着を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査※の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】（小5・中2平均・男女別）	(男)0.96 (女)0.96	(男)0.97 (女)0.98	(男)1.0 (女)1.0
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2平均・男女別）	(男)61.4% (女)48.5%	(男)65.5% (女)49.9%	(男)69.5% (女)51.2%

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。

小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動調査等の質問紙調査を実施している。

施策及び事業（取組）

⑦運動意欲の向上・基本的な生活習慣の定着

運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感じることが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	担当課	教育支援課・学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、運動への興味関心を深め、体力づくりの土台となる食事・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。 ・食育推進担当者会を実施するとともに、地域の農家と関わる機会を設ける等、自分たちの地域の食文化について理解する取組を推進する。			
指標名	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小５・中２・男女別）	R4 実績値	R6 目標値	
		男 61.4% 女 48.5%	男 65.5% 女 49.9%	

事業（取組）名	小中学校給食事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	706,287 千円（一千円）	
取組内容	・「えいようだより」や「学校給食通信」を通じ、児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成する。			
指標	保護者アンケート「『えいようだより』や『学校給食通信』の発信により、食への関心が高まったと思う。」と肯定的回答をした割合	R4 実績値	R6 目標値	
		—(*)	70.0%	

⑧学校体育・部活動の推進

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。

事業（取組）名	全国・運動能力、運動習慣等調査	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・体力づくり推進計画（アクションプラン）※をもとに、市内の児童生徒の体力向上に関する課題を分析し、担当者会等で課題解決に向けた取組の検証を行う。			
指標名	体力合計点の府平均以上校数（男女別）	R4 実績値	R6 目標値	
		男 6/15 校 女 7/15 校	男 9/15 校 女 10/15 校	

※体力づくり推進計画（アクションプラン）：全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、各学校が作成した児童生徒の体力づくりに関する計画

(*)アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

事業（取組）名	学校部活動等助成事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	7,078 千円（5,108 千円）	
取組内容	・生徒が運動や文化活動に親しみ、技術力や社会性を身に付ける部活動を支援するとともに、教職員が部活動に従事する際の負担を軽減するため、各中学校の希望や現状に応じて部活動指導員★を派遣する。 ・学校教育相談員★による部活動顧問への巡回指導を実施する。 ・生徒数の減少等に伴い、部活動の運営が困難な状況を踏まえ、拠点校方式による部活動を推進する。			
指標名	拠点校方式による部活動に参加している生徒数	R4 実績値	R6 目標値	
		—(*)	20 名	

★の説明は 37 頁に記載しています。

(*)拠点校方式による部活動を R5 から実施しているため、実績値は一としています。

基本目標
4

社会を生き抜く力を育む教育

グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は日常生活を質的にも変化させつつあります。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育の在り方も新たな事態に直面しています。子どもたちに、現在と未来に向けて、粘り強く、自らの人生を拓き、社会を生き抜く力を育みます。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的回答をした児童生徒の割合 ^{〔◆〕} （小6・中3平均）	70.0%	72.4%	74.7%

〔◆〕全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

⑨新たな教育の推進

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を発揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。

事業（取組）名	英語教育推進事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	28,337 千円（28,337 千円）	
取組内容	・児童生徒の英語力向上及び教員の指導力向上のため、授業づくりの支援及び助言を行う外国語活動支援員★を1名派遣する。			
	・児童生徒の関心や習熟度に応じた英語学習の実施に向け、小学校1校、中学校1校においてオンライン教材を試行的に導入する。			
	・授業時の英語を使ったコミュニケーション機会の充実のため、外国人英語指導助手（ALT）★を6名派遣する。また、海外からの留学生との対面による交流会を実施する。			
指標名	①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合 ②英語力がCEFRA1※相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する3年生）	R4 実績値	R6 目標値	
		① 88.7% ② 48.2%	① 90.0% ② 50.0%	

※CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。CEFRA1 は実用英語検定3級と同程度のレベル。

★の説明は37頁に記載しています。

事業（取組）名	小中学校教育用コンピュータ	担当課	学校教育課	
	一事業（再掲）【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	125,906 千円（107,622 千円）	
取組内容	・児童生徒の情報リテラシーや情報活用能力の育成に向け、タブレット端末や電子黒板等の ICT 機器を日常的かつ効果的に活用した授業づくりを推進する。			
指標名	「PC・タブレットなどの ICT 機器をほぼ毎日使っている」と回答した児童生徒の割合【◆】	R4 実績値		R6 目標値
		20.6%		35.0%

事業（取組）名	キャリア教育推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	1,986 千円(1,694 千円)	
取組内容	・摂津市キャリア教育推進委員会※を開催し、各学校の取組を共有する。 ・教職員及び児童生徒対象のアンケート調査や教職員のワークショップ等を実施し、キャリア教育に係る学習プログラムの実効性を検証する　。			
指標名	「将来の夢や目標を持っている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小６・中３平均）		R4 実績値	R6 目標値
			71.0%	75.0%

※キャリア教育推進委員会：義務教育 9 年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校のキャリア教育を推進する NPO 法人、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された委員会

事業（取組）名	防災教育の推進	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・各校の防災教育に関する計画及び進捗を確認し、市内各校での防災教育の推進を支援する。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では、児童生徒の防災意識を向上させるような防災教育の取組が行われていると思いますか」に肯定回答をした教職員の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		81.9%	85.0%	

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

基本目標
5

とともに学び育つ教育

障害の有無に関わらず、集団の中で互いを尊重し、違いを認め合いながら、自尊感情を高め、大切にする態度を子ども一人ひとりに育むとともに、地域社会の一員として人や社会とつながり、支え合いながら、ともに学び育つ教育を推進します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	81.2%	82.6%	83.9%
2	「友達と協力するのは楽しい」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小6・中3平均）	90.0%	93.0%	93.6%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。成果指標2は、「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。」の質問項目削除に伴い、R4 教育推進プランから成果指標を変更しています。

施策及び事業（取組）

⑩支援教育の推進

障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。

事業（取組）名	特別支援教育推進事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	15,836 千円（15,836 千円）	
取組内容	・教員の特別支援教育に関する専門性や指導技術を育成するため、要望に応じて市内小中学校に特別支援教育推進専門員★を1名派遣する。 ・就学相談の充実や各小中学校での自立活動等への指導助言のため、作業療法専門員★を1名配置する。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への支援のため、小中学校看護嘱託員を配置する。 ・教員の専門性向上を図るため、学校コンサルテーション実施校として2校を位置づけ、自閉症・発達障害に関する研修や個に応じた適切な指導についての助言を行う。 組織的な支援教育を推進する要となる教員育成のため、各校のコアティーチャー※²を対象とした児童生徒のアセスメントや支援方法に関する研修を実施する。			
指標名	教職員アンケート「あなたの学校では支援を必要とする子どもの課題や支援の方法について学校全体で共有されているか」に肯定的回答をした教員の割合	R4 実績値	R6 目標値	
		85.0%	100%	

※1 学校コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

※2 コアティーチャー：教育委員会が各校の特別支援教育担当の中心である特別支援教育コーディネーターの中から選抜した、支援教育について特に深い見識を持った教員。

★の説明は37頁に記載しています。

⑪相談体制の充実

児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。

事業（取組）名	就学児指導事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	414 千円（414 千円）	
取組内容	・教育関係者、福祉関係者及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、児童生徒の就学先の選択や学校における支援の手立てについて適切な助言を行う。			
	・就学前児童の保護者を対象とした就学相談説明会を実施し、一人ひとりの子どもの教育的ニーズに合った学びの場を選択する機会を提供する。			
指標名	支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員に対する教育支援会議の実施率	R4 実績値		R6 目標値
		100%		100%

事業（取組）名	教育相談事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	28,701 千円（28,701 千円）	
取組内容	・児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談に対応するため、教育センターに心理相談員を配置する。			
	・相談内容に応じ、早期解決に向けて医療や福祉等の関係機関と連携する。また、発達に関する相談があった場合は、必要に応じて児童生徒の発達検査を実施し、早期支援につなげる。			
指標名	保護者からの発達検査依頼に対する実施率		R4 実績値	R6 目標値
			100%	100%

事業（取組）名	進路選択支援事業	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	65 千円（65 千円）	
取組内容	・家庭の事情や経済的理由等で進学や修学が困難な生徒及び保護者に対する相談・支援を行う進路選択相談員★を教育センターに 1 名配置する。			
指標名	進路説明会における奨学金制度等の周知校数(中学校)	R4 実績値		R6 目標値
		5 校/5 校		5 校/5 校

★の説明は 37 頁に記載しています。

⑫生徒指導の充実

いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業	担当課	学校教育課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	32,178 千円（32,178 千円）	
取組内容	・各校の生徒指導事案の重篤化の防止及び早期解決のため、事案に応じた専門家の派遣やスクールロイヤー（SL）※¹による法律相談を実施する。 ・いじめ・問題行動や不登校の早期対応及び解決のため、スクールソーシャルワーカー（SSW）★5 名を各中学校区に週 4 日間配置する。 ・スクールソーシャルワーカーの人材育成及び機関連携へのコーディネートや地域資源の開拓のため、チーフスクールソーシャルワーカーを 1 名配置する。 ・各校の生徒指導体制構築及び充実のため、スクールソーシャルワーカースーパーバイザー（SSWSV）※²、SL 等を講師に招き、各校の生徒指導体制推進担当及び教職員の指導力向上を図る。 ・令和 5 年度に国から指定を受けた「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」に基づき、生徒指導の在り方を引き続き研究する。			
指標名	①教職員アンケート「あなたの学校では、問題行動やいじめ、児童虐待が発生した場合、学校全体で対応する体制が整っていると思いますか」に「思う」と回答した割合 ②教職員アンケート「あなたの学校では、SC、SSW、SL 等、支援人材との連携を推進できていると思いますか」に「思う」と回答した割合	R4 実績値	R6 目標値	
		① 63.8% ② 46.4%	① 68.0% ② 50.0%	

※¹ スクールロイヤー（SL）：法務相談への指導助言やトラブルへの初期対応、研修の実施等を行う法務の専門家。都道府県から推薦された弁護士。

※² スクールソーシャルワーカースーパーバイザー（SSWSV）：SSW が自分の見立ての妥当性について示唆を受ける（スーパービジョン）相手であり、大学教員等で広く教育現場と福祉に関して専門的知識と経験を有している者。

事業（取組）名	教育相談事業（再掲）	担当課	教育支援課	
		予算額（取組内容に係る予算）	28,701 千円（28,701 千円）	
取組内容	・児童生徒及び保護者の心理相談やケース会議等で専門的知見から教職員に助言を行うため、スクールカウンセラー（SC）★を週 1 日（学校規模に応じ週 2 日）各小学校に 1 名配置する。 ・生徒指導上の課題に対して早期にチーム対応を行うため、学校からの要望に応じて、心理相談員を教育センターから派遣する。			
指標名	いじめ事案への SC の関与率	R4 実績値	R6 目標値	
		100%	100%	

★の説明は 37 頁に記載しています。

事業（取組）名	適応指導教室事業	担当課	教育支援課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	10,575 千円（10,575 千円）	
取組内容	・適応指導教室(パル・アミ・メイト)において、不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援を実施する。 ・さわやかフレンド★の派遣回数を増やし、適応指導教室や小中学校での不登校の児童生徒に対する自立支援を充実させる。			
指標名	適応指導教室を利用した児童生徒の「今の気持ちポイント」※上昇値の平均		R4 実績値	R6 目標値
			—(※)	0.5

※今の気持ちポイント：適応指導教室を利用した児童生徒が通室時と退室時の「今の気持ち」を5段階で表し、1日の気持ちの変化を数値にしたもの。

（*）取組実績がないため、R5より実施します。

★の説明は37頁に記載しています。

基本目標
6

学びを続ける機会づくり

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されています。「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習ができるよう、市民にあらゆる学習の機会を提供します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	87.3%	89.0%	R3 実績値 (88.3%) より増加

施策及び事業（取組）

⑬多様な学習機会の充実

多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。

事業（取組）名	公民館講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,240 千円（3,240 千円）	
取組内容	・「こども」「健康」「安全・安心」の3つの重点テーマを考慮し、日常生活に役立つ知識や身近な課題など、市民の様々なニーズに合わせた講座を開催する。			
指標名	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	R4 実績値	R6 目標値	
		87.3%	89.0%	

事業（取組）名	家庭教育学級事業※	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	551 千円（551 千円）	
取組内容	・家庭教育学級を開設する団体を対象とした学習会及び交流会を開催する。 ・説明会の実施や市役所窓口にチラシを配置し、家庭教育学級を開設する団体及び参加者募集の周知を図る。			
指標名	交流会受講者アンケートにて「今後の暮らしに生かせる内容であった」と回答した割合	R4 実績値	R6 目標値	
		78.0%	80.0%	

※家庭教育学級事業：幼児家庭教育学級・家庭教育学級・女性学級の3学級があり、家庭教育に関する学習の機会を提供している事業。

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・登録市民講師や市の職員が直接出向いて学習機会を提供する「まいどおおきに出前講座」を実施する。 ・オンライン講座及びオンデマンド講座の導入を検討する。			
指標名	講座受講者アンケートで「非常に満足」または「満足」と回答した割合	R4 実績値		R6 目標値
		88.1%		89.0%

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	30 千円（30 千円）	
取組内容	・社会教育関係者と行政職員を対象に、生涯学習の推進に関する必要な知識を学ぶ研修会を実施する。			
指標名	研修会受講者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合	R4 実績値		R6 目標値
		77.8%		80.0%

事業（取組）名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	6,636 千円（6,636 千円）	
取組内容	・市内文化財保護のため、味舌天満宮本殿（府指定文化財）修繕にかかる補助金の交付及び旧一津屋公会堂（市指定有形文化財）の耐久性調査を実施する。 ・文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進めるとともに、活用を図り、郷土摂津に対する市民の学びを高める。			
指標名	文化財関連資料収蔵数	R4 実績値		R6 目標値
		5,465 点		5,500 点

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	44,385 千円（44,385 千円）	
取組内容	・『新修摂津市史 現代・民俗編』第3巻を刊行する。 ・『新修摂津市史 絵図地図・建築・美術編』第4巻の編纂を進める。 ・市民への一般公開に向けて、歴史資料の収集・整理・保存を進める。			
指標名	①『新修摂津市史』の刊行数 ②本市に関連した歴史資料保存数	R4 実績値		R6 目標値
		① 2冊 ② 42,000 点	① 3冊 ② 44,000 点	

基本目標
7

学びを支える環境づくり

教育基本法第3条や社会教育法第3条に基づき、生涯を通じた学びを継続するため、学習成果を活かす機会の充実など、人と人が互いに学び、高め合う環境づくりに取り組みます。またニーズの多様化に対応した学習の場が提供できるよう、社会教育施設の有効な活用を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	86.7%	88.0%	R3 実績値 (84.3%) より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	87.2%	88.0%	R3 実績値 (85.7%) より増加

施策及び事業（取組）

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。

事業（取組）名	公民館まつり事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	160 千円（160 千円）	
取組内容	・ 公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）が日頃の活動の成果を展示・発表し、地域住民と相互交流を行うことで、地域の活性化を図る。			
指標名	公民館まつり実行委員会アンケートで、「他クラブの活動を知ることにより、活動意欲が向上した。」と答えた割合	R4 実績値	R6 目標値	
		64.3%	75.0%	

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,018 千円（2,018 千円）	
取組内容	・参加団体が日ごろの活動成果を発表する機会として、生涯学習フェスティバルを開催する。			
指標名	生涯学習フェスティバル実行委員会団体数	R4 実績値	R6 目標値	
		15 団体	20 団体	

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	4,072 千円（4,072 千円）	
取組内容	・参加団体の活動成果や交流の機会を創造するとともに、来場するこども達の健やかな成長と親子のふれあいを深める場を提供するこどもフェスティバルを開催する。			
指標名	こどもフェスティバル実行委員会参加団体数	R4 実績値		R6 目標値
		34 団体		40 団体

⑮社会教育施設の活用

公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書館センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。

事業（取組）名	公民館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	48,492 千円（48,492 千円）	
取組内容	・利用者の利便性向上のため、オンラインでの貸室の空室状況照会が可能な公共施設・予約システムを活用する。 ・公民館に設置する備品及び図書の充実を図る。			
指標名	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	R4 実績値	R6 目標値	
		86.7%	88.0%	

事業（取組）名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	144,944 千円（144,944 千円）	
取組内容	・図書館サービスの充実のため、季節や時候に合わせた図書展示や様々な年齢に応じたイベントを開催する。 ・市内小中学校で配備されているタブレット等を活用し、児童生徒の電子図書館サービスの利用を広報紙やホームページにて周知する。			
指標名	電子図書貸し出し冊数	R4 実績値		R6 目標値
		4,294 冊		7,000 冊

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	担当課	生涯学習課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・未就学児を対象とした読み聞かせやブックスタート等のイベントを実施する。 ・小中高生向けのおすすめ書籍の紹介等を行い、家庭における読書及び図書館利用を推進する。 ・図書館イベントの紹介、新刊案内及び本の定期配送等で、学校との連携を密にする。 ・児童向けに読書手帳※の利用を促進する。 ・摂津市子ども読書活動推進計画を改訂する。			
指標名	子ども（0 歳～18 歳）の図書館利用者登録率	R4 実績値	R6 目標値	
		22.9%	24.0%	

※読書手帳：読んだ本を記録しておくことができる手帳。

基本目標
8

学びを活かす人づくり

「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習し、学習成果を活かす機会の充実を図り、生涯学習活動の活性化だけでなく地域での活躍につなげる、学びを市民一人ひとりが活かす人づくりを推進します。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	100%	100%	R3 実績値 (100%) より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と回答した割合	82.6%	100%	R3 実績値 (100%) より増加

施策及び事業（取組）

⑩多様な主体による指導者の育成

講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。

事業（取組）名	青少年団体育成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	2,790 千円（2,790 千円）	
取組内容	・青少年の健全な成長を目指して、地域で主体的に活動する団体（淀川わいわいガヤガヤ祭・ボーイスカウト・ガールスカウト・こども会）を支援する。			
指標名	こども会の年間活動回数	R4 実績値		R6 目標値
		567 回		600 回

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	3,938 千円（3,938 千円）	
取組内容	・小学生を対象に青少年リーダー育成を目的とするチャレンジャークラブ及び冒険プログラム講習会を実施する。			
指標名	青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「学んだことを生活で活かしたい」と答えた割合	R4 実績値		R6 目標値
		90.0%		90.0%

事業（取組）名	せつつ生涯学習大学事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	421 千円（421 千円）	
取組内容	・生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する。			
指標名	生涯学習大学受講者アンケートで「まちづくりについて考える機会になった」と回答した割合	R4 実績値		R6 目標値
		—(*)		75.0%

(*) アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

基本目標
9

安全安心で快適な教育環境づくり

子どもたちが1日の大半を過ごす学校や社会教育施設等において、安全安心で快適な教育・生活環境となるよう整備するとともに、災害時に地域住民の避難所として活用できるように、防災機能の強化を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	86.4%	88.0%	R3 実績値 (87.0%) より増加

施策及び事業（取組）

⑰教育施設の整備

老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。

事業（取組）名	小中学校施設改修事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	746,663 千円（656,969 千円）	
取組内容	・熱中症対策と避難所における防災機能の強化のため、小学校 2 校（味生小学校・三宅柳田小学校）及び中学校 3 校（第一中学校・第二中学校・第五中学校）の体育館のエアコン設置工事を行うとともに、小学校 4 校（摂津小学校・別府小学校・鳥飼西小学校・鳥飼東小学校）の体育館のエアコン設置に係る実施設計を行う。			
	・千里丘小学校の建て替えに向け、特別教室棟を解体するとともに、新校舎の建設工事に着手する。			
	・三宅柳田小学校の外壁及び屋上防水改修工事に係る実施設計を行う。			
指標名	体育館にエアコンの設置が完了した学校数	R4 実績値	R6 目標値	
		2 校/15 校	10 校/15 校	

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	32,667 千円（5,511 千円）	
取組内容	・鳥飼・鳥飼東小学校統合連絡協議会※において、鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に係る課題等について検討及び調整を行う。 ・安威川以南地域における学校の適正規模・適正配置基礎調査を行う。			
指標名	①鳥飼・鳥飼東小学校統合連絡協議会での検討結果を踏まえた教育委員会の方針の決定 ②安威川以南地域の適正規模・適正配置基礎調査の完了	R4 実績値	R6 目標値	
		①— ②—	①方針の決定 ②調査の完了	

※鳥飼・鳥飼東小学校統合連絡協議会：鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に伴う諸課題について協議及び検討を行う。教職員、保護者、地域住民等で構成される。

事業（取組）名	図書館施設管理事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	111,288 千円（111,288 千円）	
取組内容	・利用者の安全安心な施設の利用に向けて、定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。 ・市民図書館の外壁修繕を実施する。 ・市民図書館のトイレ修繕改修工事に係る実施設計を行う。			
指標名	図書館利用者アンケートで「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	R4 実績値	R6 目標値	
		84.6%	85.0%	

⑩感染症の予防・対策

学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。

事業（取組）名	小中学校保健事業	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	42,862 千円（42,862 千円）	
取組内容	・学校内での感染症の拡大防止を図るため、各学校に消毒用アルコールや手洗い石鹸等を配布するとともに、手洗いの徹底を啓発する。			
指標名	児童生徒アンケートにおいて「帰宅後も忘れずに手洗いをしている」と回答した割合	R4 実績値	R6 目標値	
		—(*)	80.0%以上	

(*) アンケート実績がないため、R5 より新規アンケートを行います。

⑨学校給食の安全衛生管理

小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。

事業（取組）名	中学校給食事業（再掲）	担当課	教育政策課	
	【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	265,761 千円（156,374 千円）	
取組内容	・保護者試食会の開催や人気献立 week の実施、ご飯量の選択など、喫食率向上に向けた取組を進めるとともに、中学校期の食の大切さを啓発する。			
	・令和 8 年度からの中学校給食全員喫食に向け、鶴野第 2 公園における給食センター設置にかかる基本設計及び実施設計を実施する。			
指標名	中学校給食喫食率	R4 実績値		R6 目標値
		6.8%		10.0%

事業（取組）名	小学校給食事業（再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	440,526 千円（440,526 千円）	
取組内容	・食中毒等の防止のため、抜き打ちのふき取り検査や定期的な研修を実施し、手洗い消毒など小学校給食調理場での衛生管理を徹底するよう指導する。 ・衛生管理マニュアル順守徹底するため、効果検証会議を適宜行う。			
指標名	食中毒の発生件数	R4 実績値		R6 目標値
		0 件		0 件

基本目標
10

地域全体で教育に取り組む体制づくり

子どもたちの生きる力は、学校だけで育めるものではなく、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して育ちます。学校は「地域とともにある学校づくり」を行い、地域は子どもや学校を見守り支え、相互に連携することで、学校・地域全体で教育力の向上を図ります。

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 目標値
1	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と肯定的回答をした学校の割合【◆】（小中学校）	33.3%	66.7%	100%

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

②⑩学校・家庭・地域の連携強化

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

事業（取組）名	学校協議会※ ¹ 及び学校運営協議会※ ² の積極的運営	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	281, 307 千円（960 千円）	
取組内容	・学校協議会及び学校運営協議会において、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告し、学校運営に関する内容について協議する。 ・学校管理職等に対し研修会を実施するとともに、令和 4 年度設置及び令和 6 年度に設置予定のモデル校の取組を普及させることで、各学校における地域と協働した学校運営を支援する。			
指標名	「地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを活かして、学校美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した学校の割合 ^{【◆】} （小中学校）	R4 実績値	R6 目標値	
		33. 3%	66. 7%	

※1 学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。

※2 学校運営協議会：教育委員会から委嘱・任命された地域住民や保護者、学識経験者などが委員となり、一定の権限と責任をもって学校運営に関わる。本市では、令和4年度より段階的な設置を進めている。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティスクール」と呼ぶ。

【◆】 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問事項を指標としています。

事業（取組）名	積極的な情報発信	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	—	
取組内容	・学校広報活動等支援員※が取材した小中学校の取組に関する情報を YouTube にて発信し、学校、家庭、地域が連携した教育力の向上につなげる。			
指標名	保護者アンケートにおいて「本市の教育活動等に関する動画（YouTube チャンネル）による発信は、学校や市の取組を理解することにつながっていると思いますか」と肯定的回答をした保護者の割合	R4 実績値		R6 目標値
		71.9%		82.0%

*学校広報活動等支援員：小中学校等（こども園、図書館など）の特色ある取組、教育委員会の各事業の活動などを取材し、摂津市の web ページ、YouTube チャンネル、広報紙等で発信する。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	担当課	こども政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	1,658 千円（1,658 千円）	
取組内容	・各中学校区の地域教育協議会（すこやかネット）で実施する子どもの見守り活動や行事等を通じて、学校・家庭・地域の連携を強化し、地域全体の教育力の向上を支援する体制づくりを推進する。			
指標名	各中学校区の主行事の参加者数	R4 実績値		R6 目標値
		1,088 人		2,000 人

㊦子どもの安全見守り活動の充実

学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。

事業（取組）名	安全対策事業【重点事業】	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	26,534 千円（7,096 千円）	
取組内容	・不審者の侵入防止に向け、小学校通用門のオートロック化に係る実施設計を行う。 ・日本郵便（株）と連携し、見守り活動用ベストやステッカーを活用した子どもの見守り活動を実施する。			
指標名	①学校運営中の不審者侵入事案 ②児童・生徒に関わる登下校時の犯罪発生件数	R4 実績値	R6 目標値	
		①0 件 ②0 件	①0 件 ②0 件	

事業（取組）名	スクールガード・リーダー配置事業	担当課	学校教育課	
		予算額（取組内容に係る予算）	546 千円（546 千円）	
取組内容	・登下校時の不審者事案の抑制や危険箇所の把握のため、スクールガード・リーダー※を5名配置し、巡回指導を行う。 ・防犯、交通安全についての見識を深めるため、警察と連携した連絡会を実施する。			
指標名	スクールガード・リーダー巡回数	R4 実績値		R6 目標値
		411 回		430 回

※スクールガード・リーダー：子どもたちの安全・安全確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで、危険箇所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業 （再掲）	担当課	教育政策課	
		予算額（取組内容に係る予算）	32,667 千円（27,136 千円）	
取組内容	・登下校時の児童生徒の安全確保のため、交通専従員を新たに 1 カ所追加配置し、市内 26 カ所で見守り活動を実施する。 ・通学路等安全プログラムに基づき、合同点検を実施し、安全対策を行った内容について、写真等を用いて web ページで公表する。			
指標名	通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率	R4 実績値		R6 目標値
		100%		100%

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	担当課	生涯学習課	
		予算額（取組内容に係る予算）	446 千円（446 千円）	
取組内容	・こども110 番の家の登録件数を維持するとともに、子どもの安全見守りボランティアの登録者数を増やし、地域での子どもの見守り活動を強化する。 ・子どもの見守りシステムについて、先進市の取組事例や活用方法を参考にし、検討するとともに関係部署と導入に向けた協議を行う。			
指標名	子どもの安全見守りボランティアの登録者数	R4 実績値		R6 目標値
		12 人		15 人

摂津市が配置等している支援人材の一覧

名称	内容	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	P. 6
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	P. 6
学校読書活動推進支援員	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	P. 7
I C T 支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型 PC の活用事例等や授業提案を行う	P. 9
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	P. 10 P. 15
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	P. 11
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	P. 15
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	—
外国語活動支援員	学期に 2 回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	P. 16
外国人英語指導助手 (A L T)	英語を母語とする外国人を中学校区に 1 名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのチームティーチングを行う。	P. 16
特別支援教育推進専門員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	P. 18
作業療法専門員	作業療法士の視点から、児童生徒の学びの場の選択や自立活動等について指導助言を行う。	P. 18
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	P. 19
スクールソーシャル ワーカー (S S W)	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	P. 20
スクールカウンセラー (S C)	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	P. 20
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	P. 21
教育支援嘱託員	適応指導教室 (パル) に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	—
スクールサポーター	教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の事務作業負担を軽減する。	—
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	—
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	—